

メルマガ 第 8 号 吉村順三記念ギャラリーの展示・企画をご案内いたします。

日本海側は大雪、東京も 寒さ厳しい日が続きますが、園芸店にはプリムラが花を咲かせ、日没も少しゆっくりとなったようです。

現在 吉村順三記念ギャラリーは

★★☆ J YMG 小さな建築展 第 25 回 ☆★★

「浜田山の家」展を

1 月 15 日（土）から 2 月 20 日（日）迄の

各土曜日・日曜日 午後 1 時～6 時まで 開催しております。

「浜田山の家」1964

永橋爲成

○「建築の基本は住宅」

吉村先生は、「住宅が基本だと思います。どんな小さな住宅でも本当にうまくできたら、とても大きな仕事でもできると思います」と語る建築家である。

○「君が住むつもりで設計してごらん」

吉村先生は、「君が住むつもりで設計してごらん」と、まずは数少ない示唆をされ、「新手を考えてね」と付け加えられた。吉村設計事務所には、それまでに作った膨大な住宅事例がある。それらの引き写しは許されない。

○「君の意見は」

先生との打ち合わせはいつも、「君の意見は」と、まず聞く。大学でたての若者も、一人前の扱いである。「よおっし！」と意気込める。しかし、結局は先生の手のひらのうちにあるのだが、その辺のバックアップは実に凄いなと思う。

○先生は、「住宅の設計は内部から進めていき、最後にエレベーションのスタディにとりかかることにしている。エレベーションは本来、近隣との関係に責任をもち、節度のある態度でとりくむべきものである。エレベーションに限らず、一般に物の形は固定した論理をもって、やみくもにつくられるべきものではない。人間の自由さをいいものとして形に生かしてゆく努力・責任ある自由さ・を大切にしたい」語っている。・・・・・・・・

・・・・・・・・この展示・内容 ギャラリーにお越しいただき ご覧ください。

○「パノラマVR」

この浜田山の家は・写真・図面・模型のほか 昨年末撮影した「パノラマVR」(VR:バーチャル・リアリティ) (全方位映像) で、この住宅・外観・各室内を展開しております。

是非ご覧いただければと、思っております。

吉村順三記念ギャラリー 担当：永橋爲成 小林 武

◎ギャラリートークを 2 月 6 日（日）と 2 月 20 日（日）15～16 時 行います。ご参加ください。

